

形成外科学

形成外科学は、外表の形態にかかわる先天性異常や熱傷・外傷・悪性腫瘍等による組織の欠損、変形及び機能損傷に対して、主として外科的手段で形態的・機能的な回復・復元をはかり、患者の心身両面での社会復帰を支援する学問である。

マイクロサージャリーを用いた再建手術は、従来の再建術より治療の応用範囲を拡げ、成績を各段に向上させた。当科実習を通して、形成外科医としての基本から、難度の高いマイクロサージャリーの手技を身につけ、国際的に活躍する医療者になることを目指す。

【一般目標】

- 1) 医師としての責任感と技能および知識を診察、治療などの実践の中で学ぶ。
- 2) 四肢、頭頸部、体幹の解剖学的知識を深める。
- 3) 基礎と臨床両者の医学的観点から、患者治療における課題を抽出し理解した上で表現することを学び、病態把握から治療までの流れにおける問題解決型の思考を身につける。

【到達目標】

- 1) 患者との良好なコミュニケーションを礎に必要な情報を収集する。
- 2) 身体診察を適切に行い、必要な検査とその適応および理由について説明できる。
- 3) 治療方法の選択、概要について理解し、起こりうる合併症と予測される治療結果を考察し説明できる。
- 4) 治療における基本的手技(皮膚縫合など)を模擬演習を通して学び、更に形成外科において独自性の高いマイクロサージャリーによる微小血管吻合を身につける。
- 5) 以上を会得した上で国際学会における発表を行い、広島から世界へと国際的な視点を持ち、将来における自身の医師像を構築する。

【実習の実際】

外来実習

- 1) 形成外科の対象疾患患者について理解する。
- 2) 写真撮影や各種計測・記録や評価法など、形成外科的診察法の基本につき理解する。
- 3) 外来で行っている形成外科の治療法(創処理や術後創処置、抜糸・抜糸後の後治療、組織拡張器の拡張)、各種創傷に応じた外用剤・被覆材の選択、創面の評価方法などを理解する。

病棟&研究室実習

- 1) 形成外科入院患者の術前準備、術後管理方法について学ぶ。
- 2) 植皮術や有茎皮弁術、再建手術後、幼小児患者など、形成外科特有の入院患者の術後管理、注意点について学ぶ。

3) 症例検討会, 病棟総回診で形成外科の各種疾患に対する診断, 治療方法, 形成外科と外科系他科との関わり, チーム医療のあり方について学ぶ。

手術室実習

- 1) 手術に実際に入り, 形成外科手術への参加を通じて理解を深める。
- 2) 外科系医師に必須となる基本的な外科手術手技(特に皮膚縫合手技・縫合材料の選択など)の理解と確実な修得を目指す。
- 3) 形成外科疾患に対する各種の手術的治療方法(形成外科的皮膚縫合法, 植皮や皮弁術, 人工乳房や組織拡張器, マイクロサージャリー, リンパ管静脈吻合術・リンパ管移植術, 他科との共同手術・チーム医療)について学ぶ。

模擬実習

- 1) 手袋などの練習台を用いて皮膚縫合の手技を学習し, 縫合材料, 手術機材による違いを感覚でも理解し, 確実な修得を目指す。
- 2) 口径0.8mm以上のチューブを顕微鏡下に吻合する手技を会得する。慣れてきたら口径0.8mm以下のスーパーマイクロサージャリーに挑戦し微小血管吻合を体験する。

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
外来実習時の行動内容	30
手術実習時の行動内容	30
手術実習時の行動内容	10
提出レポートへの取り組み, 内容	10
教授試問	20

週間スケジュール

	8:30	9:00	12:00	13:00	16:00/17:00
月	オリエンテーション(医局) 7:30 抄読会	手術実習(OP室) (形成 or リンパ手術)	昼食	手術実習(OP室) (形成 or リンパの手術)	症例検討会 (医局)
火		外来実習(外来) or リンパ手術	昼食	手術実習(OP室) 主に乳房再建	
水	7:30 抄読会	病棟実習(7東) 縫合実習など(医局)	昼食	手術実習(OP室) 主に頭頸部再建	
木		外来実習(外来) or リンパ手術	昼食	リンパ手術	
金	7:30 抄読会	外来実習(外来)	昼食	外来実習(外来) or 講義(医局)	

(医局):臨床管理棟 2階 形成外科医局, (研)臨床研究棟

(外来):外来棟2階形成外科外来(16, 20・21診)

(7東):7階東病棟

(OP):中央手術室

※その他, 空き時間などを利用して適宜講義, 実習を行う。

担当教員

永松 将吾 (形成外科 診療講師)

連絡先

形成外科医局

電話 : 082-257-5851

E-mail : keisei@hiroshima-u.ac.jp